

R5.2.9(木)

R5.2.19(日)

ちまた

高齢化対策に意識改革を

松田莉理子 中3(岡山市北区)

久しぶりに出かけたファストフード店。私は店内に入ってびっくりした。レジカウンターで祖母くらいの雰囲気の人がマスク越しに元気よく注文を聞いていたのだ。その動きは、昨年高校を卒業した私の姉よりもテキパキしていて、見ていると気持ちいい。

なぜ驚いたかということ、ファストフード店のレジ係は、勝手に若い人だと思い込んでいたからだ。でも別に年齢に関係がある仕事でもないし、年配の人の方が適した場面もあるだろう。私の考えが古かったようだと思いついて反省しているうちに私の番が来てしまい、肝心の注文は決まっていなかった。でもその人は注文が決まるまで優しく待っていて本当に助かった。「失礼しました」。私は心の中でつぶやきながら、大好きなトマト入りハンバーガーにかぶりついた。

社会科で日本の高齢化が深刻だと学んだが、本当に問題なのは私のように古い考えに縛られていることかもしれない。高齢化対策の第一歩は私たちの意識改革だと思う。

乗舟

月見

2023年

R5.2.25(土)

高齢者の違和感に気付いて

成本清香 中3(岡山市北区)

私の住む町内では、高齢者で1人暮らしをしている人に緊急連絡先を書いたメモを冷蔵庫の中に入れておくように呼びかけている。メモを町内などで決められた場所に置くことで、もし何かあった時に他の人でも高齢者の身内に連絡することができるのだ。

近年、少子高齢化が進む日本では、高齢者の1人暮らしが増加しており、彼らに「もし何か起こった時、の対応が大切だ」という。

しかし、私は「何か起きる前に高齢者の違和感を感じ取る、ことが大切だと思う。そのためには、地域の高齢者にあいさつをしたり話しかけたりして、普段から積極的にコミュニケーションを取ることが重要だと考える。日々のやりとりによりほんの少しの違和感を見逃さないようにできるだろう。

高齢者が増加していく中、いち早く高齢者の違和感に気付けるよう、コミュニケーション力と観察力をつけていきたい。

マスクで声かけためらう

藤本陸央 中3(岡山市北区)

私は最近、人間関係の希薄さを感じることもある。その主な理由はコロナウイルスによるマスクの着用だ。

私は中学校3年間、マスクを着用して過ごしてきた。だからマスクを外していると、誰か分からないことがある。また同じ小学校だった友達はマスクをしていて誰か分からなかったりする。そのため私は自分から声をかけることをためらうことがある。多くの人がこのようにためらうようになると、人と人の付き合いは少なくなるばかりだろう。

そんな中で私の母は相手が知らない人でも話しかける。分からないことがあればすぐに聞くし、幼い子どもがいれば、すぐに手を振ろうとする。私は恥ずかしいのでいつも止めようとする。しかし一度だけすごいと思ったことがある。話しかけた相手が外国人だったのだ。その時、母はすぐに英語に切り替えて分からないことを聞いていた。

人付き合いが少なくなっている今だからこそ、相手が異なる国の人でも声をかけられるようになりたい。

日 木曜日

R5.3.2(木)

ネット投票を実現させて

中村奏太 中3(岡山市北区)

先日、若い人たちの選挙の投票率が低下しているというニュースを見た。10代から20代の多くの人たちは有権者であるにもかかわらず、棄権しているのだ。これは若い人たちの意見が政治に反映されにくくなることにつながる。

この問題の解決策として「ネット投票」を実現させるのはどうだろうか。若い人たちが投票しに行かない理由に「めんどくさい」や「予定がある」があった。ネット投票を可能にすることで自宅などから自由に投票できるようになり若い人たちの投票率が上昇すると思う。

僕も18歳になったら選挙の投票をしに行こうと思う。たった一人の1票では政治に影響がないと思うのではなく、社会を変える力のある一人の有権者として自分が信頼している政党や立候補者に投票したいと思った。